

建設技術審査証明事業 住宅等 関連技術

概要書

建築物の外壁補修技術 「GNS アンカー工法」



2023年3月

建設技術審査証明協議会会員



一般財団法人

ベターリビング



適用範囲

鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造およびPC造のタイル張り仕上げ外壁に適用します。

技術概要

外壁タイル中央部に1㎡あたり9本（若しくは16本）の専用アンカーピンを脳天打ちする事により、外壁の意匠性を保持して、タイルの落下を防止する事が出来る工法です。

標準施工フロー図



①アンカー位置墨出し



②無振動ドリルで穿孔



③座掘り作業



④孔内清掃



⑤穿孔深さと座掘り深さ確認



⑥ GNS アンカー R 挿入



⑦ GNS アンカー R ピン挿入



⑧専用打込み棒で打込み



⑨施工完了

技術審査結果の概要

- (1) 本技術は、外壁タイルにアンカーピンを脳天打ち補修する事によりタイル落下防止効果があるものと確認された。
- (2) 本技術は、1㎡あたり9本（若しくは16本）でのアンカーピン施工で、振動繰返し実験によってタイル外壁に落下が発生しないものと確認された。
- (3) 本技術は、JIS K 5659 鋼構造物用耐候性塗料の試験により、アンカーピン頭部の塗料塗膜耐候性能が十分であるものと確認された。
- (4) 本技術は、1,500Nの荷重で10,000回繰返し荷重をかけても、タイルに対する頭部のアンカーピン強度が低減しないと確認された。
- (5) 従来の外壁複合改修工法と比較して、トータルコストと施工工期の比較で優位性があると確認された。

施工例



全面均等割付アンカーピン脳天打ち

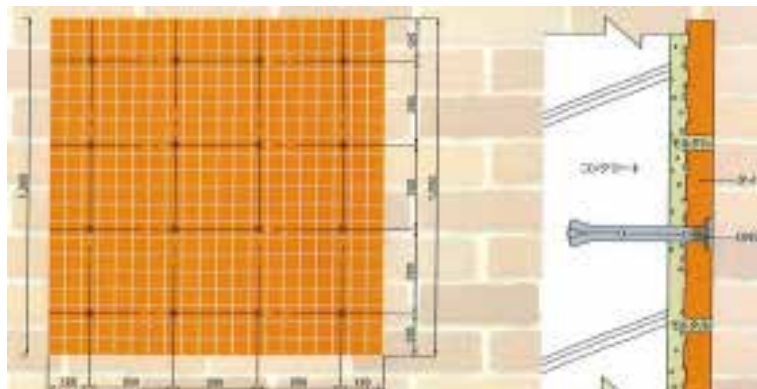


外装タイル研りの騒音
色違いによる意匠性の低下が減少

下地モルタル浮きタイルは 0.25 m²以内の浮きであれば、張替え、エポキシ樹脂注入無しで、落下防止が出来ます。(目地強度が基準値以上である事)

0.25 m²以上の浮きの場合は、アンカーピンの増し打ち9本 / m²が必要です。(欠損タイルは張替え・浮き幅が2mm以上ある下地浮きは張替えが必要です)

下地補修基準に関してはお問い合わせください。



技術内容及び報告書の入手に関するお問合せ先

報告書（技術審査の詳細）の入手を希望される方は下記までお問い合わせ下さい。

全国ビルリフォーム工事業協同組合

〒108-0014 東京都港区芝 5-26-20 建築会館

TEL 03-3454-4371 FAX 03-3454-4377

本概要書は、一般財団法人ベターリビングが行った「建設技術審査証明事業（住宅等関連技術）」の結果を広く関係各位に紹介する目的で作成したものです。

一般財団法人ベターリビング <https://www.cbl.or.jp/>

建設技術審査証明協議会 <https://www.jacic.or.jp/sinsa>